

※ 日程予約済み、詳細は今後調整します

※ 同日午後「第 37 回定例総会」開催

出演者募集! 「午後のポエジア」は、毎年さまざまな趣向、テーマを重ねてまいりました。コロナ禍を乗り越え、昨年はポーランドを代表するミツキェーヴィチ作「祖霊祭」にも挑戦しました。

今年は、本来の午後のポエジアのペースで、詩の朗読をはじめ、歌、楽器、舞踊、映像、発表、演劇等、会員の皆様の自由な発想で、軽快、重厚、分け隔てなく、多様な表現、演出の担い手を募ることになりました。

豊平館の素敵な空間で、会員及びご縁のある皆様と共に、ポーランド文化との交流の楽しいひとときになればと思います。ご応募をお待ちします。

ご応募は下記、事務局の電話・メールへ

(企画担当)

会員動向(2023.1~3)

逝去:加藤多一さん(謹んでご冥福をお祈りします)

入会:栗原成郎、林祥史、退会:小田晃孝、栗原朋友子、鷲見健

(敬称略)

ご寄付(2023.1~3)深謝!

(1口千円)(2)石田レイ子、高橋健一郎(1)小山内道子、小野幸代 (順不同)

STANDER STANDER

年会費(2022.9~2023.8)納入のお願い

年会費:一般3,000円、学生1,500円

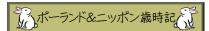
また、維持会費としてご寄付(1口千円:任意)も承ります

- ※ご請求額は個別の納入依頼(振替用紙同封)をご覧ください
- ※遠方の方はご寄付(年千円)で会誌 POLE の定期読者になっていただくこともできます。事務局にお問合せください

POLE109 目 次

## 寄稿募集

本誌への寄稿を募集します。 〆切は毎年3月末/7月末/11月末、分量は1000~1500字程度、テーマ、ジャンルは自由です。 詳細は下記事務局の電話・メールへお問合せください



俳句連載「ポーランド&ニッポン歳時記」は前号をもって終了しました 故津田モニカさん、ピョトル・ヴジェチョノさん及び霜田千代麿さんには、長きに わたりご寄稿・ご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます(POLE 編集委員会)

最後は中華の社会を認めた中華の社会を表現と表現を認め、 I OLLIU 9 日 // 中国は中華の社会を表現という。 中国は中華の社会を表現という。 日本の   1 日	3 = 3 ,
創立35周年記念演奏会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
〈新刊紹介〉『ショパン~プリンス・オブ・ザ・ロマンティクス』(三浦洋)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3	
〈例会報告〉ポーランド名作映画ビデオ鑑賞&交流会2023(園部真幸)/スコリモフスキ監督最新作	
『EO イーオー』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
〈報告〉《特別講演会》ブロニスワフ・ピウスツキの遺したもの/ロンドンにおけるB・ピウスツキ特別展「ニ	
シパ~アイヌの中で」(吉田敬子)/『痛みのペンリウク~囚われのアイヌ人骨』の仏訳の出版・・・・・・ 5	
〈追悼〉津田モニカ・シフルスカさん〈新刊紹介〉『夏目漱石~1889-1895年の俳句』(井口時男、アグニエシ	
カ梅田)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
グディニャNNW国際映画祭2022に参加して(淺野由美子)・・・・・・・・・・・・・・・・・9	
〈新刊紹介〉小篠真琴詩集『へいたんな丘に立ち』(菅原三栄子)/『ポーランディア〜最後の夏に』(瀬戸	
正昭) / シアターキノ30周年に寄せて(中島洋) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
第12回朗読会「午後のポエジア」出演者募集! 12	
〈新刊紹介〉『ウクライナ青年兵士との対話』(長縄光男)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
_	
『クレクス先生のふしぎな学校』(住谷秀保)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

発行 北海道ポーランド文化協会

〒060-0018 札幌市中央区北18条西15丁目3-19 安藤方TEL·FAX 011-556-8834、hokkaidopolandca@gmail.com

東京事務所 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-29-309 音響計画㈱ 霜田気付 TEL 03-6804-1058 FAX 03-6804-6058 ポーレ編集委員会



安藤厚/新井藤子 池田光良/氏間多伊子 熊谷敬子/松山敏